

ニュースリリースのご紹介

青木あすなろ建設株式会社が取得した技術等に関する記事をニュースリリースとしてご紹介致します。

1.技術評価（2010年～）

(1)HR パイル（共同研究）

2010年2月27日に日本建築センターの性能評定（BCJ 評定 FD0202-04）を9社（熊谷組（代表会社）、青木あすなろ建設、安藤建設、大木建設、西武建設、銭高組、間組、前田建設工業、ピーエス三菱）共同で取得。

(2)柱 RC 梁 S ハイブリッド構法（共同研究）

2012年3月30日に日本建築総合試験所の建築技術性能照明（第10-05号改）を9社（浅沼組（代表会社）、青木あすなろ建設、奥村組、西武建設、大末建設、東亜建設工業、西松建設、ハザマ、長谷工コーポレーション）共同で取得。

(3)折返しブレース

2013年4月5日に日本 ERI の構造性能評価（ERI-K12009）を取得。

(4)橋梁用ダイス・ロッド式摩擦ダンパー（共同研究）

2015年6月に首都高速道路株式会社と共同研究で、既設橋梁の耐震性を向上させる橋直角方向用制震デバイス「橋梁用ダイス・ロッド式摩擦ダンパー」を開発。

その実用化に目途がつき、首都高速道路株式会社が6月末に発行した「橋梁構造物設計施工要領」の改訂版に採用し、その展開を積極的に推進。

(5)滑り基礎構法（共同研究）

2015年12月1日に日本 ERI の構造性能評価（ERI-K14010）を3社（青木あすなろ建設、高松建設、JPホーム）共同で取得。

2.特許（2010年～）

(1)発明の名称「杭頭接合構造」

登録日：2010年2月5日

(2)発明の名称「アンカーの健全性評価方法（オリス）」

登録日：2012年3月9日

(3)発明の名称「PCB、ダイオキシン類などの難分解物質による汚染物の無害化方法」

登録日：2012年5月18日

(4)発明の名称「自動測量方法（ASTOS）」

登録日：2012年6月22日

(5)発明の名称「柔要素制震構造部材と柔剛混合制震構造」（折返しブレース）

登録日：2013年10月11日

(6)発明の名称「滑り基礎構法」

登録日：2015年4月3日

3.表彰関連（2010年～）

(1)2010年度、青木あすなろ建設・みらい建設が土木学会関西支部の技術賞を受賞。

受賞内容：第二京阪道路での「大規模開削による大断面4連アーチカルバートの施工」

(2)2011年度、牛島 栄が日本コンクリート工学会賞にて功労賞を受賞。

受賞内容：「これまでに長年に亘り土木学会の諸事業並びにコンクリート工学会の発展に多大な貢献をなされたこと」

(3)2015年度、土木学会平成27年度全国大会第70回年次学術講演会において、波田雅也が優秀講演者を受賞。

受賞講演内容：耐震補強部門（橋梁デバイス）「橋梁の制震化に用いる摩擦ダンパーの実験的研究（その2 L2地震時の履歴特性）」